



2010年11月1日

各 位

会 社 名 アステラス製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 野木森 雅郁
コード番号 4503
(URL <http://www.astellas.com/jp>)
東 証 ・ 大 証 (各 第 一 部)
決 算 期 3月
問 合 せ 先 広報部長 河村 真
Tel : (0 3) 3 2 4 4 - 3 2 0 1

2010-2014 年度中期経営計画 2014 年度の売上高、営業利益目標の見直しについて

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：野木森 雅郁、以下「アステラス製薬」）は、このたび、2010年5月に公表した2010年度から2014年度までの5ヵ年の新しい中期経営計画（以下、「本中期計画」）に関し、2014年度（2015年3月期）の売上高、営業利益の目標数値を以下の通り見直しましたので、お知らせ致します。

記

1.見直しの理由

- ①2010年6月に買収した OSI Pharmaceuticals, Inc 社（以下、OSI 社）の影響を目標数値に織り込みました。
- ②上記とあわせて、想定為替レートを見直し、ドルの想定レートを90円/ドルから80円/ドルに、ユーロの想定レートを130円/ドルから110円/ユーロとしました。

2.見直し後の2014年度の売上高・営業利益目標

売上高： 1兆960億円（2010年5月公表時：1兆1,000億円）

*このうち、OSI社買収に伴う売上高へのプラスの影響 約560億円
為替レートの見直しによるマイナスの影響 約600億円

営業利益： 2,260億円（2010年5月公表時：2,400億円）

*このうち、OSI社買収に伴う営業利益へのプラスの影響 約50億円（無形資産及びのれん償却後）。なお、無形資産及びのれん償却前営業利益は370億円のプラスの影響を見込んでいます。
為替レートの見直しによるマイナスの影響 約190億円

上記による見直し以外に、本中期計画における経営目標の変更等はありません。

なお、2010年度（2011年3月期）の売上高、営業利益の予想は以下の通りです（2010年度第2四半期決算短信に記載の通り）。

売上高	9,420 億円（2010年5月公表時の期初予想：9,400 億円）
営業利益	1,240 億円（2010年5月公表時の期初予想：1,520 億円）

以 上

注意事項：

本資料中の目標数値は業績予想ではありません。また、本資料中の将来に係わる一切の記述内容は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものですが、既知・未知のリスクや不確実な要素が含まれています。さまざまな要因の変化により、実際の結果は、これら記述内容と大きく異なる可能性があります。

リスクや不確実性には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社既存及び新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、これらに限定されるものではありません。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。